

環境経営レポート

野村建設株式会社

2023 年度

(対象期間： 2023 年6月1日 ～ 2024 年5月31日)



発行日： 2024年6月20日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

野村建設株式会社は昭和30年12月に建設業を営み始めてから創業68年となりました。私たちは上伊那郡飯島町にて土木・建築・舗装工事を営む建設会社です。近年では環境事業として再生可能エネルギー事業（太陽光発電）を展開しています。令和3年1月には長野県SDGs推進企業に登録し、SDGsの基本理念を共有しながら持続可能な地域社会の形成を目指して事業の活動と地域社会への貢献を継続して参ります。会社のある南信地区は、アルプスの山々に囲まれた自然豊かな場所で、澄んだ空気と四季折々の景色が楽しめます。この環境を次世代に繋ぐためにも事業の継続を通じて地域貢献や社員の働きがいへの動機を高め、飯島町周辺の環境保全を目指していきます。

環境経営方針

経営理念「ひとづくり まちづくり」の元、地域の環境を自主的、積極的に大切にすると育て環境保全を通じて持続可能なまちづくりに取り組みます。社長以下、従業員一丸となり継続的に環境改善運動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

1. アイドリングストップ等省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物の分別に努め、建設副産物のリサイクル率向上に努めます。
3. 無駄な電気使用量を減らし、休憩時の消灯等電力使用量の削減に努めます。
4. 本社、支店の冷房、暖房の温度設定を環境省指定の数値に設定します。
5. 顧客及び地域に対して省エネ、省資源対策の製品、工法及び工夫を提案します。
6. 節水に心掛け、水道水を大切に扱います。
7. 地域の自然環境保全活動に積極的に参加します。
8. 社長以下、従業員一同道路上のポイ捨て塵（廃プラ等）を積極的に拾います。
9. 環境経営の継続的改善を誓約します。



制定日：2022年10月1日

改定日：2024年6月14日

代表取締役 野村 肇

組 織 の 概 要

- (1) 名称及び代表者名
野村建設株式会社
代表取締役 野村 肇
- (2) 所在地
本社・管理センター 長野県上伊那郡飯島町飯島829番地5
駒ヶ根支店 長野県駒ヶ根市赤穂3333番地1
資材置き場 長野県上伊那郡飯島町飯島152番地8
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 顧問 今堀 雷三 TEL : 0265-86-2010
担当者 顧問 今堀 雷三 TEL : 0265-86-2010
- (4) 事業内容
総合建設業（土木、建築）
- (5) 事業の規模
売上高 77,660 万円 (2021年度)
- | | 本社・管理センター | 駒ヶ根支店 | 資材置き場 | 合計 |
|----------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------|
| 従業員 名 | 16 名 | 6 名 | 0 名 | 22 |
| 延べ床面積 m ² | 312 m ² | 184 m ² | 606 m ² | 1,102 |
- (6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 野村建設株式会社
対象事業所： 本社・管理センター
駒ヶ根支店
資材置き場

対象外： なし
活動： 総合建設業

□事業の紹介

建築不動産事業

地域のまちづくりを徹底サポート。



土木事業

創業以来から続く、確かな信頼と実績。



舗装事業

様々な案件に柔軟に応える現場力



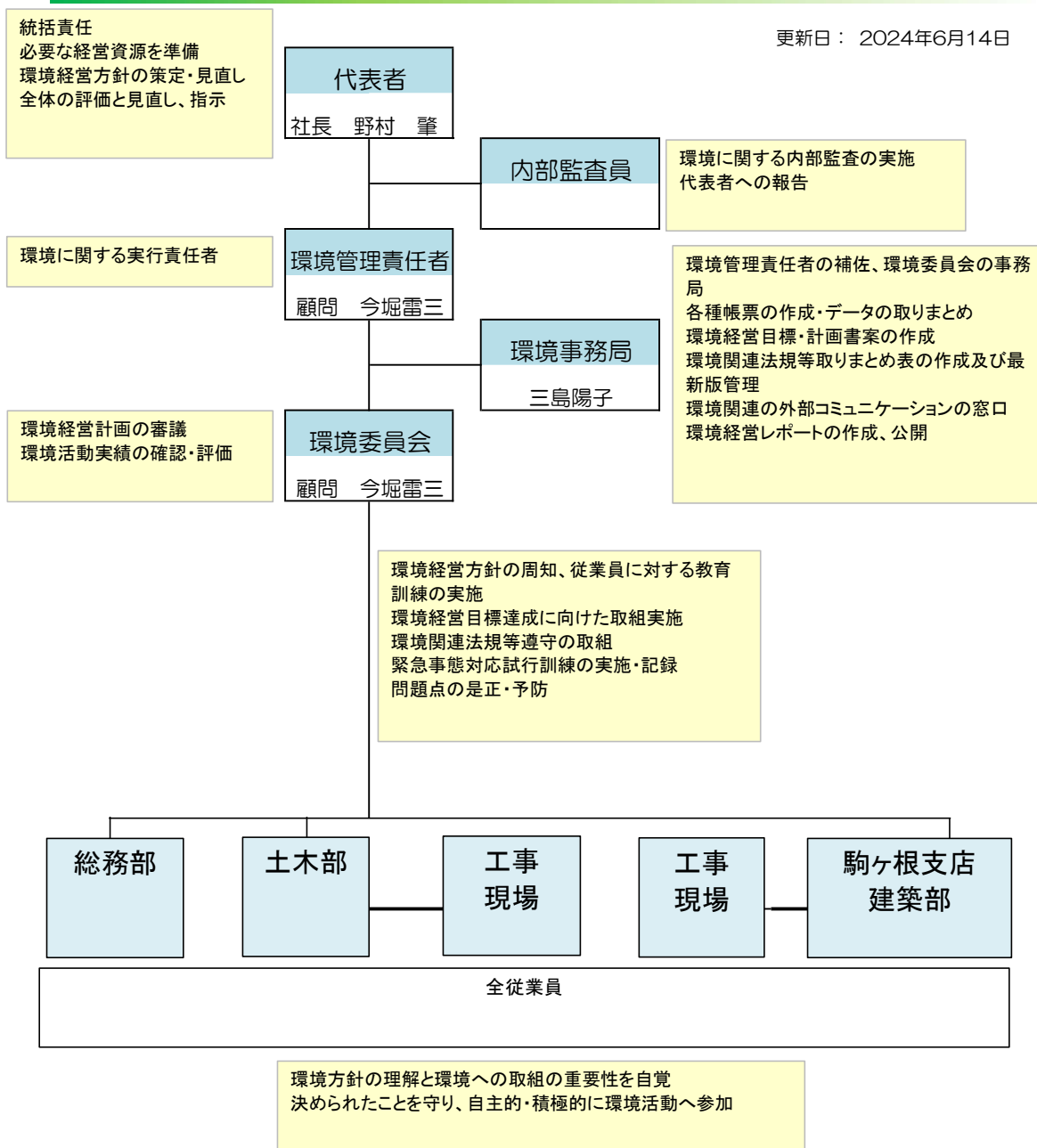
ローコスト・注文住宅事業

高品質な住宅をお手頃価格で



環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日： 2024年6月14日



本社全景

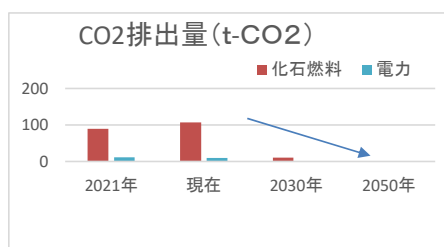
主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	102,518	91,355	118,278
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	165	125	275
産業廃棄物排出量	kg	1,797,487	1,599,746	1,020,420
水使用量	m ³	163	162	143
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.388	0.388	0.388
※2021年度のデータは期初から期の途中まで		中部電力ミライズ	中部電力ミライズ	中部電力ミライズ
※負荷の実績は工事現場を含む				

kg-CO₂/kWh

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO ₂			
	化石燃料	電力	対 策
2021年	88.5	10.6	
現在	106.3	9.02	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	10	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力



環境経営目標及びその実績

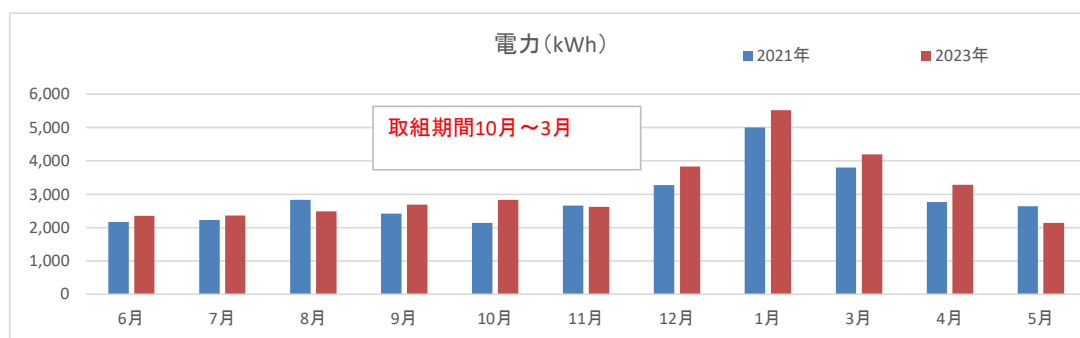
年 度		2021年	2023年		評価	2024年	2025年
項 目		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	36,073	35,712			35,352	34,991
		30,673	30,366	39,136	X		
	基準年度比	2021年	99%	128%		98%	97%
	売上高原単位	kWh/千円	0.023	0.023	X	0.023	0.023
		kg-CO ₂	13,996	13,856		13,716	13,576
		11,901	11,782	15,185	X		
売上高原単位	基準年度比	2021年	99%	128%		98%	97%
	kg-CO ₂ /千円	0.009	0.009	0.016	X	0.009	0.009
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,999	2,969			2,939	2,909
		2,999	2,969	5,369	X		
	基準年度比	2021年	99%	179%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	85,523	84,668			83,812	82,957
		76,366	75,602	97,724	X		
	基準年度比	2021年	99%	114%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	91,266	90,353	118,278	100,468	99,443
一般廃棄物の削減	kg	165	162			162	160
		165	163	275	X		
	基準年度比	2021年	98%	167%		98%	97%
産業廃棄物の削減（混合）	m ³	76,310	75,547			74,784	74,021
		68,302	67,619	33,805	O		
	基準年度比	2021年	0.99	49%		0.98	0.97
建設副産物の再資源化率の向上		%	80%	85%	94%	O	90%
水道水の削減	m ³	163	161			160	158
		132	131	143	X		
	基準年度比	2021年	99%	108%		98%	97%
化学物質の適正管理		適正管理			O	適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進		行動目標（次項による）					

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の目標及び計画

数値目標：○達成 ×未達成

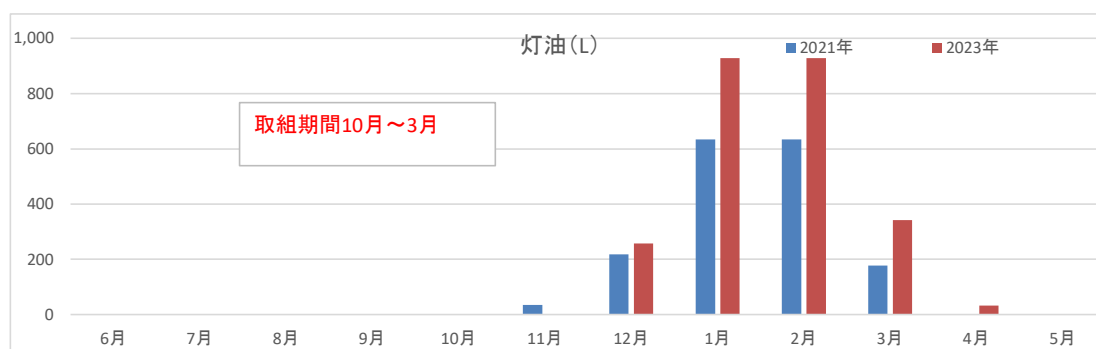
活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】 支店の使用量は減少したが、本社の使用量が多い。年間を通して何処の使用量が多いのかを究明する必要がある。 【次年度の目標及び計画】 (目標) 13716kwh (計画) 中部電力に電気料の相談をし、削減方法を検討していく。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	△	
・作業・業務の見直しによる効率化	△	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	2,174	2,228	2,828	2,425	2,141	2,656	3,276	5,000	3,804	3,804	2,766	2,634
2023年	2,352	2,362	2,488	2,692	2,825	2,621	3,828	5,518	4,830	4,199	3,284	2,137

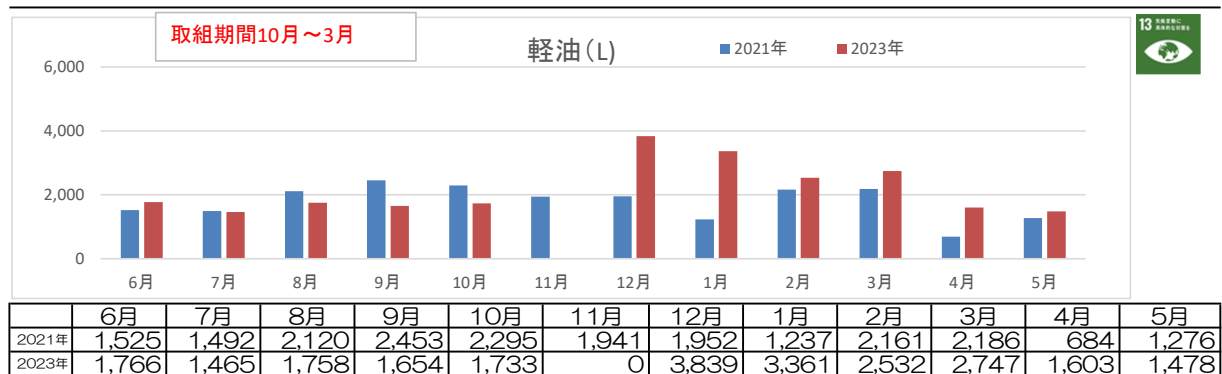
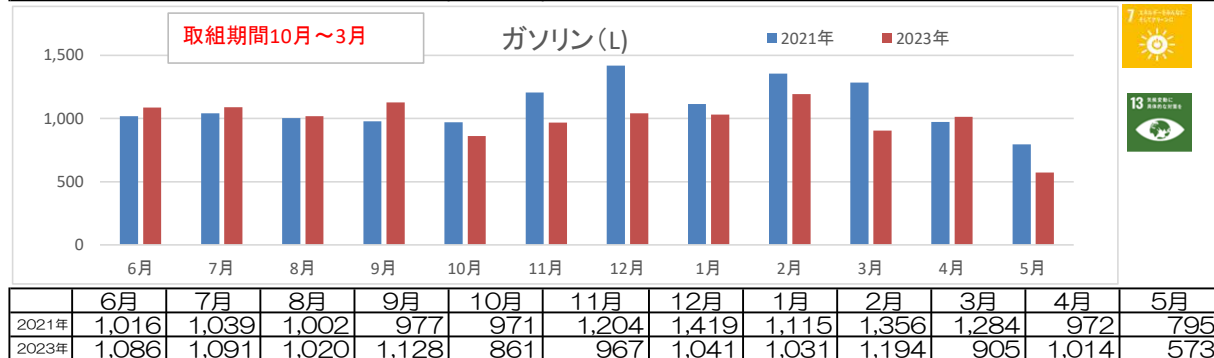
灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】 冬は外から戻った時、寒くない様ストーブをつけたままにすることがある。現在使用中のストーブは古い為、最新ストーブ(省エネタイプ)を検討してみる。 【次年度の目標及び計画】 (目標) 2939L (計画) 冬期の暖房について温度管理を適正に実施する。
・暖房の適正管理	○	



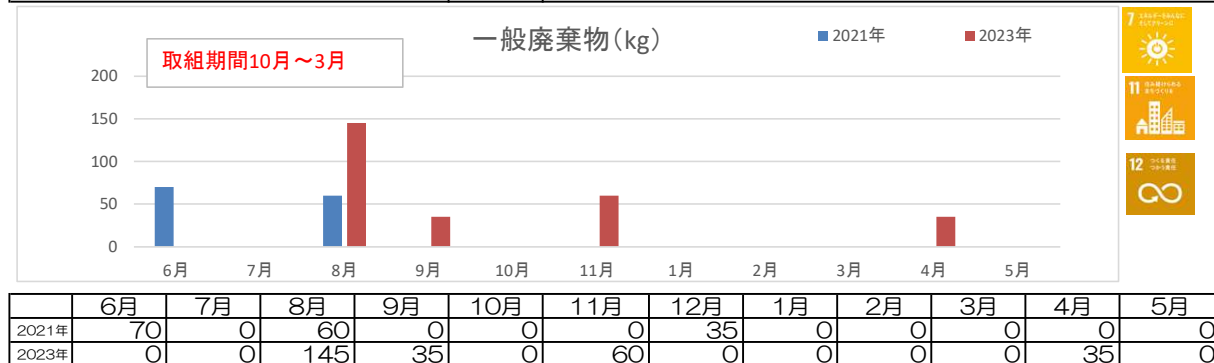
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0	0	0	0	0	36	218	634	634	178	0	0
2023年	0	0	0	0	0	0	258	928	928	342	33	0

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
------------------------	------	--------------------

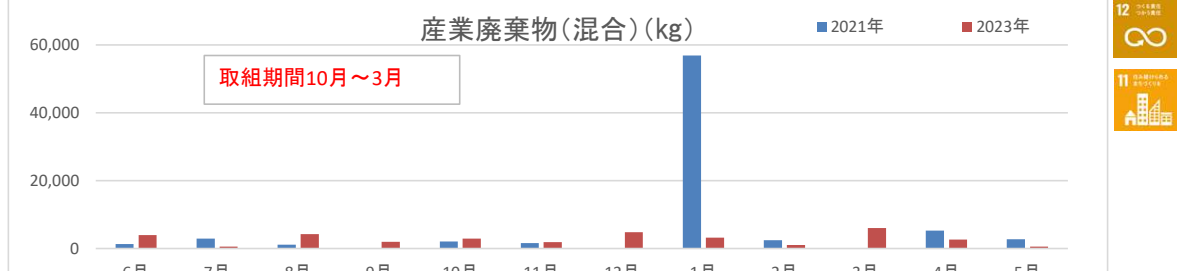
数値目標	×	【評価】基準年と比較して、使用量が増加した。受注量は減少している為何が原因か究明する。
・エコドライブの徹底	○	
・効率的なルートで配送	△	【次年度の取組】（目標）83812L
・エリア別営業活動の見直し	△	（計画）エコドライブ運転の徹底や暖機運転の短縮など実施する。



一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】書類内容確認時、PC画面で出来る物は印刷しない様にす
・分別の徹底	△	る。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	【次年度の取組】
・梱包材の再利用	○	（目標）162kg
・持込ごみの見直し	△	（計画）ペーパーレス化の推進を行う。



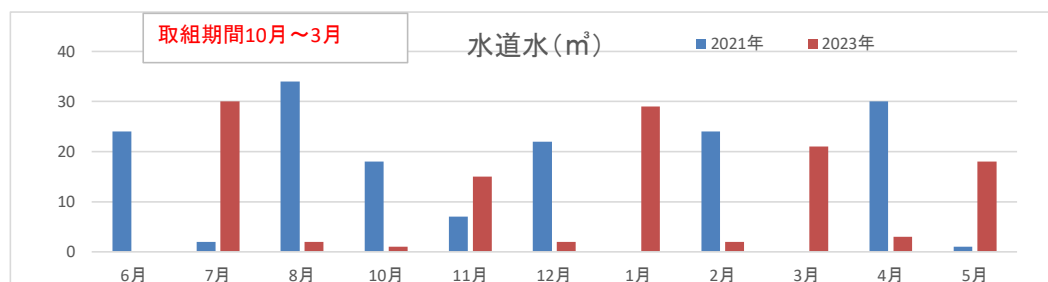
産業廃棄物の削減（混合）	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】ペットボトル、アル缶等を混合に入れず分別した為量が減少した。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	【次年度の取組】
・素材別ボックスの設置	△	（目標）74783.8kg
・リサイクル業者の開拓	△	（計画）分別の推進を行う。



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	1,352	2,860	1,170	0	2,080	1,534	0	56,810	2,496	0	5,278	2,730
2023年	3,926	520	4,290	1,976	2,860	1,898	4,841	3,250	1,040	6,006	2,652	546

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	【評価】ほぼ目標は達成できた。
・分別の徹底	○	【次年度の取組】
・再資源化先の開拓	○	（目標）90%
		（計画）焼却や埋め立てのリサイクル化を行う。

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	【評価】宿舍の利用が無くなった為、使用量が減少した。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	【次年度の取組】
・節水弁取り付け	○	（目標）160m ³
・自動水栓取り付け	○	（計画）常に無駄が無いように注意をしていく。
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	24	2	34	1	18	7	22	0	24	0	30	1
2023年	0	30	2	20	1	15	2	29	2	21	3	18

化学物質の適正管理		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		0%	・現在のところ化学物質は使用していません。
・SDSの管理		○	
環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化		○	【評価】大体できた。 【次年度の取組】 (目標) (計画) 項目ごとに取り組む。
・作業ミスの防止		○	
・顧客クレーム削減		○	
・廃棄物の再資源化の推進 (別項目で実施)		○	
課題を解決しチャンスを活かす取組		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承		○	【評価】大体できた。 【次年度の取組】 (目標) (計画) 項目ごとに取り組む。
・企業PRによる顧客獲得		○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保		○	
・新製品・商品開発		○	
・働き方改革		○	

各事業所の取組紹介

<本社>

【 ペットボトル・アルミ缶・スチール缶の分別 】



<支店>

【 照明器具をLED化 】

(事務所内)



(玄関)



【 エコカーの購入(プリウス) 】



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	建設重機
振動規制法	建設重機
水質汚濁法	油類
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの苦情はありませんでした。（2023年6月～2024年5月）

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/5/13 13:30～14:00	■実施場所： 野村建設㈱支店
■参加者： 今堀、三島、福田、小林	■実施内容： 消火訓練
■評価： 予定どおり実施できた。問題ありませんでした。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子  【 水消火器による消火訓練 】	

緊急事態の想定： 廃棄物の分類	
■実施日： 2024年4月30日	■実施場所： 野村建設㈱管理センター
■参加者： 今堀、三島	■実施内容： 廃棄物の適切な分類
■評価： 問題ありませんでした。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子  	

代表者による全体の評価と見直し・指示

【目標・計画の達成状況】

- 前年度（基準年）と比較して二酸化炭素排出量や廃棄物・水使用量が増加しています。この為削減目標は未達成となりました。受注した工事等の内容により使用量が増加した可能性はありますが、エコアクション21の活動により原因究明と対策を講じ次年度は削減できるよう計画しなければなりません。

【組織を取り巻く経済環境】

- コロナが5類に移行し1年以上が経過し、経済活動も以前の水準に戻りつつあります。しかし、活動が活発化することは人が動き多くのエネルギーを消費することになります。2021年登録の「長野県SDGS推進企業」、そして2023年のエコアクション21の登録認証と続き、省エネ目標を掲げる企業として最小限のエネルギーコストで最大限の結果が出せるよう引き続き努力して参ります。

【企業の目指すべき姿】

- 弊社の経営理念にある、野村建設株式会社の社員一人一人が地域社会発展の「原動力」となることを通じて、SDGSの理念である「誰一人取り残さない持続可能な社会づくり」をこの地域で実現するために、さまざまな取り組みを引き続き進めています。そのためにはもっと社員の皆さんにエコアクション21の趣旨を伝え教育し、能動的に行動できる人を育てます。そのための支援は惜しみません。社員全員の取り組みで「持続可能な社会」を実現する会社を目指します。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更なし
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介

太陽光発電施設を設置し、
再生可能エネルギーの普及に貢献しています。



□編集後記

昨年度エコアクション21に初めて取り組みましたが下がると
思っていた数字が下がりにません。なかなか難しいなあと残念な
思いです。実際、社員さんへの浸透力がまだまだ足りてません。
言葉と文章の力で、もっともっと聞いてもらって見てもらう工夫
をしていこうと決意したのでした(R)